



▲カヌーに乗って競争

8月22・23日に大阪府青少年海洋センターで「スポーツ少年団夏季野外活動」が行われ、スポーツ少年団員の小学6年生45人が参加しました。この活動は、さまざまな海洋活動をとおして、各地区の団員と親睦をはかり、心身とも健康で明るい明日への意欲を養うことをねらいとして実施。団員たちは、センターのリーダーの指導のもと、いかだ作りやカヌー・ヨットで海を楽しみました。

8月
22～

海と親しみながら協力して活動 スポーツ少年団夏季野外活動



▲生徒と一緒に清掃活動

8月21日、学校コミュニティ協議会が自治会などとともに田原本中学校で清掃活動を行いました。この協議会は、学校運営に保護者や地域住民が参画し、教職員・保護者・地域住民が協働して、子どもたちの課題解決を図る仕組みです。生徒たちがカマなどを使って除草し、1時間ほど清掃活動をした結果、校庭はみちがえるほどきれいになりました。

8月
21

地域の人たちとともにきれいな学校に 田原本中学校で清掃活動



▲防災講話を聞き防災への決意を新たに

9月1日、防災と減災に対する意識の高揚を図るため、笠縫自治会・防災会主催の「防災フォーラム」が、笠縫自治会集会所で開かれました。災害時にとるべき行動、防災ずきんなどの防災グッズの作り方や、災害伝言ダイヤルの使い方などが防災会により説明されました。フォーラムでは、参加者と自治会・防災会による活発な議論がなされ、参加者は防災への決意を新たにしました。

9月
1

災害死者ゼロを目指して 防災の日フォーラムイン笠縫住宅



▲飯ごう炊飯に挑戦

8月28・29日、自然のなかでの体験を通じて、協調性や責任感、連帯感を育てることを目的とした、「小学生宿泊体験学習」が国立曾爾青少年自然の家で行われ、小学5・6年生75人が参加しました。子どもたちは、シニア・ジュニアリーダー（町子ども会連絡協議会）の指導のもと大自然のなかでフォトテリングをしたり、カレーライスを作ったりして、共同生活を楽しみました。

8月
28～

大自然の中で皆と生活しました 曾爾高原宿泊体験学習